

「障害者100人でUSJへ」企画！

2019年3月4日(月)・5日(火)

2日間を通して実にいろんな課題や成果が出ました。参加者の意見など現在、集約中です。現時点で出されている主な意見などをまとめてみました。

- 参加者 2日間合計、172人、うち障害者81人(視覚3人、知的1人)

※受付等を通していない参加者も数名いるかも。

・4日(月) 80人(内、車いす28、視覚2、知的2) 一日中、小雨でした。

・5日(火) 92人(内、車いす43、視覚1) 一日中、快晴でした。

遠くは愛媛県松山市のCILメンバーや明石市からの参加もありました！

- 大きな成果と課題が噴出した2日間でした。アトラクションに乗れる乗れない、入れる入れないでクルーと折衝する場面があちこちで起きました。JRの駅員によると通常は一日あたりの車いす利用者は2~3名らしく「今日は何かあったんですか？」と聞かれました。(車いす利用者の多くは車で来るのかもしれませんが。ちなみに今回はほとんどJR利用です)

- 両日ともほぼ全員11時開始のウォーターワールド(WW)に集合し、WW終了後記念撮影。あとは各自で好きなアトラクションを楽しみました。未集約の情報もありますが、改善されたことと逆に初めて言われたこともありました。同じアトラクションでも、同じような障害程度なのにクルーによって乗れたり、乗れなかったりしています。

* (改善点や課題~この日だけの改善かも...)

- ・ジョーズは「100メートル歩けますか？」は、ほぼ言われなかった。(ただ最後の1名は言われた)
- ・電動車いすの手動切り替えは強制されなかった。一方できつく強制された例もあった。
- ・ジェットコースター(ハリウッド・ドリーム・ザ・ライド)はこれまで2階の乗り場前のエレベーターの前ではなく1階で車いすから降りて歩くことが強制されていたが、この日は2階までエレベーターで行き、乗ることができました。ただしこの日は2人介護という条件。
- ・いくつかのアトラクションでは担当のクルーだけでなく、エリアマネージャーなど上のスタッフがでてきて、車いす操作などを実際に見てくれて、理解してもらえた。



<ウォーターワールド>

←車いすからの視界

けっこう空席ある→



- ルパン (MXライド) のVRゴーグル~今回は話をして付き添い者もつけられた。やり取りの中で付き添い=介護者ではなく、中には夫婦、カップル、友人などいろんなパターンがあるがUSJ側はすべて「介護者」だと認識していたのと発言があった。

*** (今回、たぶん初めて言われたり、起こったこと)**

- 電動車いすの自動切り替えやその後の操作など、スタッフがやってもできなかったことが複数例あった。標準的な切り替え操作でさえ、指導役のクルーもできなかった。



- ジュラシックパーク (急流すべり) では「8階建てビルくらいの高さの階段を下りれないと乗れない」と言われた。本人の障害は重かったが介護者は2人いて、座位も取れるがダメだった。その後、似たような障害者が行った時は介護者1名で乗れた。これまで「安全バーを持てますか?」はあっても、「8階建てビルの階段」という言葉は初めて言われた。

- ハリーポッター (フォービドゥンジャーニー) で「はしごで降りれますか?」と言われる。本人は歩くのは難しいが座位はしっかりしており介護者もいたが、はしごと言われてあきらめた。3メートルくらいの高さでライドが止まることがあるから、という説明だったようだが、障害者専用の乗りやすい乗り場もあるが、はしごという言葉は初めて聞いた。これも今回、より重度な障害者は数人乗っており、1名だけがはしごと言われた。

- 水平な通路 (廊下) を歩いて火災現場を見るバックドラフトでは「車いす1台に介護者1人が必ず必要」となり、車いす3名+介護者2名は認められなかった。理由の説明の中で「緊急時に階段を使うから」と言われた。しかしこのアトラクションで階段を使うルートは無い。このグループでは1名の障害者が歩いた。本人としては「歩けるが脳性麻痺で大きな音がすれば、びっくりして危険。電動車いすに乗っている方がずっと安全なのに」本人にとっては危険でも歩ければ介護者は不要だった。実際になにが危険でどうすれば安全か、ではなく決められたマニュアルだけで対応されている。

